

ユウタとコハル

画：ゴハチ



暮らしの中の千夜一話

銀色のふたに私のイニシャルが彫られた懐中時計は、祖父が残してくれた、ただひとつの形見である。子どもの頃、祖父はよくそれをポケットから取り出し、私の小さな手にそっとのせた。丸い時計の中でせわしく進む秒針を指さしながら、祖父はこう繰り返した。

「時間ていうのはね、お前が思うよりずっと速く過ぎていくんだよ。だから一瞬一瞬を大切にするんだよ」。幼い私にはまったく意味が分からなかった。ただ、カチカチと響く秒針の音が子守歌のように心地よく、私はその音と祖父の手の温もりが大好きだった。やがて私は大人になり、仕事に追われる日々に没頭した。効率や締め切りばかりを気にするうちに祖父の言葉は遠い記憶となり、懐中時計も引き出しの奥で眠ったままだった。そんなある日、同僚から「このところ時間ばかり気にして全然楽しそうじゃないね」と何気なく言われ、その一言が胸に刺さった。帰宅後、私は衝動的に引き出しを探り、懐中時計を取り出した。久しぶりに銀色のふたを開けると、秒針は何事もなかったかのように力強く時を刻んでいた。耳を澄ませば、あの頃と同じカチカチという音が私の心を静かに揺さぶる。雨が降ってきた。窓の外を見ると、庭木の葉の上で雨粒が弾けては土へ吸い込まれていく。



小さな一滴の軌跡が、まるで時間の流れを映し出しているようだと思う。時はただ過ぎ去るものではなく、確かに「今」を刻んでいる。私は懐中時計をそっと握りしめた。忘れていた祖父の声が鮮明によみがえり、胸の奥に温かさが静かに広がった。窓辺に立つと、雨音と時計の針の音が重なった。明日は、今日より少し丁寧に生きてみよう。



今月のトピック：【スマホ認知症】

スマートフォンの長時間使用による「スマホ認知症」予備軍が増えています。激しい物忘れや集中力の低下、言語障害などの原因は、膨大な情報量を処理する脳のオーバーワークによるものとか。使用時間の制限、スマホなしの散歩やぼんやりする時間で脳を休めれば改善します。適度な距離感と、人間本来の生活が身を守る鍵となるようです。



— 弊社のモットー —

私共はあなた様の想いに誠心誠意、奉仕致します。つまり、愚直に、真面目に、地道に、誠実に、謙虚に、スピード感を持ってことにあたります。

株式会社 エルフォルク

〒733-0002
広島市西区楠木町 3 丁目 10-22
TEL : 082-230-8870 FAX : 082-230-8871
<https://www.tent-erfolg.co.jp>